

令和6年度 第4回 宇城市地域公共交通活性化協議会 議事録

日時	令和6年12月11日（水）午後2時～3時30分
場所	宇城市役所 新館1階 第2会議室
出席者	委員：出席22名、欠席1名 アドバイザー：3名 事務局：3名 （詳細は別紙「令和6年度第4回宇城市地域公共交通活性化協議会委員等一覧」のとおり）
議事等	1 開会 2 会長挨拶 3 議事 報告第5号 第1回宇城市地域公共交通活性化協議会運賃分科会の開催及び承認について 議案第6号 宇城市地域公共交通計画の策定に係る現状把握及び基本方針について 4 その他 5 閉会
会議結果	・議案第6号は、原案のとおり承認。
会議資料	・令和6年度第4回宇城市地域公共交通活性化協議会（議案書）

（会議の経過）

発言者	議題・発言・結果
	1 開会 2 会長挨拶 3 議事 （1）報告第5号「第1回宇城市地域公共交通活性化協議会運賃分科会の開催及び承認」について 会長 事務局 報告第5号について、事務局から説明願いたい。 （資料に沿って説明） 会長 ただいまの事務局からの説明に何かご質問等あるか。 委員 ①「意見の募集について」と記載があったがどのように募集したか？

事務局	市ホームページで無料にしてよろしいかと意見を募集しました。 9月2日から15日まで募集したが、意見なしだった。
会長	その他何かご質問等あるか。
委員一同	(意見なし)
会長	ご意見・ご質問等ないので、報告第5号を終わります。
会長	(2) 議案第6号「宇城市地域公共交通計画策定に係る基本方針及び目標」について 議案第6号について、事務局から説明願いたい。
事務局	(資料に沿って説明)
会長	ただいまの事務局からの説明に何かご質問等あるか。
アドバイザー	①資料1の9ページの乗合タクシー利用者数で、海東地区が右肩下がりの割合が大きいとその経緯は？
事務局	海東地区の利用者の減少理由は、まず、利用される可能性がある人数自体が減っていることと、そして、同じ人が繰り返し利用するので、1人が施設入所などで利用しなくなると延べ利用者数が大幅に減ることによるもの。これは、三角地区も長崎地区も状況としては同じで、高齢者数が減っている。ただし、三角と長崎の2地区は新規利用者も出てきている。利用できそうな人は地域に埋もれていると思うので、今後は利用者の発掘や周知に力を入れたい。
アドバイザー	②資料1の13ページの乗合タクシー利用者アンケート調査で、運行本数の増便の要望があるが、乗合タクシーは事前予約制だと思うがどういうことか？
事務局	資料1の7ページから8ページに乗合タクシーの本数が記載されているが、時間や便数は決まっており、数も限られている。都合が合わないや便数や時間帯を増やしてほしいなどの要望があっているので、これはこれからの課題だと思っている。

アドバイザー	③資料１の１５ページの実施状況で×になっているものの具体的な状況を知りたい。
事務局	まず、乗合タクシーの存廃検討基準については、今まで手を付けられなかった部分で、存廃検討基準を含めて、今計画で議論して、今後見直しを図っていきたい。また、できる限り廃止という方向でなく、どうしたら残していけるかということで考えていければと思っている。 次に、市街地や観光地への公共交通の導入や既存施設を活用した交通拠点の創出では、今回、関係部署からのヒアリングで、観光地へのアクセスが足りないのではないかという意見や立地適正化計画でも駅の結節機能の強化や既存施設の活用という課題も上がっているので、これは次期の計画に含めて検討していきたい。 そして、スクールバスの有効活用については、スクールバスが学校優先のバスになるので、空いている時間の活用が、行事も時折変わることもあるので、それもありなかなか活用ができていない状況。担当課からも活用は難しいという回答は得ているが、せっかくある市の資源でもあるので、引き続き、検討自体は行っていきたい。
アドバイザー	④資料１の１６ページの目標達成状況の中の利用率の出し方は？
事務局	別添参考資料で掲載している駅までどうやって来たかという質問の回答から算出したもの。
アドバイザー	⑤資料１の１６ページの総括内で、「地域公共交通に対する意識は大いに変化し、意識が向上したものと考えます」とあるが、意識が向上した根拠は？
事務局	別添参考資料で掲載している市民アンケートから、公共交通維持のための協力できることで前計画策定時より、維持のために協力したいという方の割合が増えたため。 ※上記①～⑤については、内容について分かりにくい部分や説明に追加した方がいい部分については、本日の意見等を元に計画に補完したい。

委員	⑥資料１の５～６ページにマップがあるが、字が読めるように拡大してほしい。 ⑦資料１の６ページからの公共交通の現状に一般タクシーも公共交通機関に位置付けられているので、路線バスと乗合タクシー、そしてスクールバスの間に記載してほしい。 ⑧資料１の２０ページの基本方針で、問題点に「交通事業者の運転手の高齢化や人材不足による担い手不足」があり、これは、基本方針の②に入ってくるのかなと思うが、今後検討いただく施策の中でも人材確保についても検討してほしい。 ⑨資料１の２０ページの④の利用促進・意識の醸成で、参考資料１５０ページの商業施設からのヒアリングで地域公共交通との連携可能性の回答で、「現時点で想定しているものはないが、依頼があれば積極的に検討」とあるので、ぜひ商業施設と連携した利用促進についても、今計画の施策の中で、積極的に検討してほしい。
事務局	意見を参考に計画に組み込んでいきたい。
委員	⑩イオンモール宇城から小川駅間の自動運転の実証実験の経緯や詳細、今後、将来どういうふうに考えているかを聞きたい？
事務局	イオンモール宇城と JR 小川駅間の自動運転の実証実験は、１週間で土日含め７日の実証となる。１日８便運行予定で、１２人乗り。 経緯としては、イオンモール宇城で、無料のコミュニティバスを運行している路線があり、イオンモールからそのルートを使って取り組みができないか相談があり、市としてもチャレンジしてみようかと今回応募した。実証実験は１年以内などですぐに導入できるものではないので、今後は、複数年かけて、課題点等洗い出しながら、最終的にはレベル４の運行を目指して、実験を繰り返していく予定。 国土交通省などの関係機関との相談や課題解決等がうまくいければ、令和９年度からレベル４を運行できればと考えている。運行計画や運営が今後の課題。
委員	⑪資料１の２ページで交通空白地の人数の２万２０００人には、乗合タクシーエリアは反映されているか？
事務局	乗合タクシーエリアも反映した結果（乗合タクシー地区は交通空白地に入っていない）となっている。少し計画の記載が分かりにくいので修正する。

委員	⑫資料１の１２ページの市民アンケートで運行本数の改善要望があったが、増やすことは考えているのか？
事務局	アンケートでどこか改善してほしいことはあるかと聞かれたことで公共交通の運行本数を増やしてほしいという回答だと思うが、回答者の８割は、自動車利用で、普段公共交通を利用していないということもあり、需要等考えると、本数を増やすのは現実的かどうかがあるので、本数だけでなく運行ルートを含めて全体として見直すことを検討している。運行本数の増便前提では今のところは考えていない。
委員	⑬基本方針で観光事業の取り組みもあるといいかなと思った。 また、自家用車の需要に依存している状況が、公共交通の利用に進まない大きな要因だと思うので、いかに自家用車から公共交通へシフトしてもらうのか、何かしらの取り組みを検討してほしい。
事務局	自家用車から公共交通への転換は宇城市の現状ではなかなか難しい課題ではあると思うが、特に高齢の方に関連するアンケート結果で、「免許を返す予定はない」と回答を多くあったが、その一方で高齢者の事故も増えてきているので、こういうケースで免許を返しても生活できるように何があればいいかなど取り組みを今後考えていけたらと思う。
委員	⑭資料１の６ページの交通空白地の説明が分かりにくいので、他自治体等の計画を見て変更してほしい。
事務局	説明については、検討する。
委員	⑮先ほどの資料１の６ページの交通空白地の質疑がよく分からなかった。また、乗合タクシーでも免許返納者への市からの何か特典等あればという話もよくあるので、検討してほしい。
事務局	先ほどの質疑は、交通空白地の計画内の説明が分かりにくいことによる質疑だった。そのため、計画の説明を分かりやすいように修正する。 免許返納者からのご意見は市にもよくいただくので、そちらも含めて計画に織り込んでいけたらと考えている。
会長	その他何かご質問等あるか。
委員一同	(意見なし)

委員一同	【決議】 承認（賛成多数）
委員	4 その他 （１）事業者からの今後の方針等の説明
事務局	（２）事務局から次回協議会の日程 次回は、令和７年１月下旬頃を予定している。
	5 閉会